

テクノロジー・ショーケース2016開催結果報告書

H28.2.5 つくばサイエンス・アカデミー

- 1 開催期日 平成28年2月4日(木) 9時30分～19時
- 2 会場 つくば国際会議場
- 3 参加者数 625名
- 4 内容

(1)ポスター発表 122件 (一般 110件、つくば発注目研究 12件)

(2)企画展示 3件 (J-PARC、つくば市、茨城県)

(3)共催機関広報展示 (21機関)

(4)弁理士会関東支部による「発明無料相談コーナー」の設置

(5)特別講演

テーマ 「インフラ長寿命化時代の到来」

講師 土木研究所理事長 魚本 健人氏

(6)ミニシンポジウム

持続可能な社会を支えるインフラの長寿命化をテーマに、インフラの長寿命化に関する研究開発を行っている4名の方から最新の研究開発状況についてご講演を頂きました。

「インフラメンテナンス総力戦とイノベーションへの期待」

国土技術政策総合研究所 道路構造物システム研究官 木村 嘉富氏

「産総研でのインフラ維持技術の開発概要」

産業技術総合研究所 上席イノベーションコーディネータ 樋口 哲也氏

「インフラ長寿命化のための材料技術」

物質・材料研究機構 元素戦略材料センター センター長 土谷 浩一氏

「コンクリート構造物の長寿命化に向けた研究の視点」

土木研究所先端材料資源研究センター材料資源研究グループ長 渡辺 博志氏

司会：土木研究所 理事 野口 宏一氏

(7)プレゼンテーション賞の表彰

発表内容が優れていると認められた発表者を表彰し、懇親会の席上で江崎会長から賞状が授与されました。各賞の受賞者は別紙受賞者一覧表のとおりです。

5 結果

- ・発表件数は昨年より4件多い122件で、分野別に見ると物質材料、環境、土木建築、エンジニアリングなど16分野と多岐にわたり、異分野交流を図ることが出来ました。
- ・発表内容について来場者からは、「様々な分野の話が聞けて、研究の良い刺激となった」「短時間でいろいろな分野の情報が得られた」などの感想が寄せられたほか、「ビジネスを進める具体的な話をした」「必要な情報、人脈を得た」など、多くの来場者から効果があったとの回答が寄せられ、開催の成果が認められました。
- ・発表の方法については、色鮮やかなポスターを制作したり、サンプルの展示や動画での説明を加えるなど工夫が見られ、年々向上しているように見受けられました。
- ・高校生や大学生、若手研究者に対しては、「優秀な発表が多く、将来有望だと思いました」といった声が寄せられました。
- ・つくば市主催の「つくばビジネスフェア」と同時開催したことから、昨年に比べて来場者が増加し、なお一層の交流を図ることが出来ました。